



フードバンク関西ニュース

2015年7月20日 第32号

フードバンク関西は企業から寄贈された食品を
支援を必要とする人たちを支える非営利団体に
無償で分配する活動をしています。

2015年7月20日発行

認定特定非営利活動法人

フードバンク関西

事務所 芦屋市呉川町1-15

TEL/FAX 0797-34-8330

e-mail foodbank05@yahoo.co.jp

URL <http://foodbankkansai.org/>

ご家庭で保管されたまま忘れられている食品はありませんか

ー フードドライブで活用のお場を！！ ー

シャープ株式会社「若草山グリーンキャンペーン 2015」にてフードドライブ開催



6月7日(日)、シャープ株式会社の労使共同のボランティア組織「シャープグリーンクラブ」主催による「若草山グリーンキャンペーン 2015」が開催されました。私たちフードバンク関西は、このキャンペーンの一環としてシャープの皆様のご協力を得てフードドライブ



を行い、家庭にある様々な食品をご寄付していただきました。社会貢献活動として、奈良「若草山」の景観保全と伝統行事の山焼きの継承などを目的にススキの植栽、ナンキンハゼの除伐が行われました。フードバンク関西のボランティア 11 名も、シャープの皆様に加わって若草山に登り、心地よい汗をかきました。さらに「奈良公園クイズウォーク」にも参加し、東大寺などを巡り、奈良を満喫することができました。

あしや市民フェスタフェスタなど3ヶ所でフードドライブを開催します

7月25日(土)、当法人は各地でフードドライブを開催します。家庭で保存されている食品の中で「忘れられたままになっている食品」をお持ち寄りください。当法人は責任をもってそれらを必要としている福祉団体にお届けします。

★第8回あしや市民活動フェスタ：7月25日(土)10時～16時 あしや市民活動センター（芦屋市公光町）
14時30分から食育講座を開催し、食べ物大切さを子どもたちに伝えます。

★第6回あしや保健福祉フェア：7月25日(土)10時～17時 芦屋市保健福祉センター（芦屋市呉川町）

★神戸市兵庫区社会福祉協議会：7月18日、25日、8月1日、9月5日、兵庫区内の夏祭り会場にて実施。

フードドライブとは？

フードドライブというのは、家庭で保存されている食品の中で「忘れられたままになっている食品」を、参加者が探して持ち寄り、フードバンクに寄付するチャリティイベントです。フードバンクは、それら食品を福祉施設や支援を必要とする人たちに届けて無償で分配します。

皆さん、日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）が年間500万～800万トンも発生し、それは、日本のお米の年間総収量850万トンと同じくらいということをご存じでしょうか？

これらは、食品流通関連企業、外食産業、そして家庭で発生するのですが、実は家庭からの食品ロスが200万

～400万トンと最も多いのです。家庭から出る生ごみを調査した結果では、61%が調理くず、17%が食べ残り、残りの22%が手つかずの食品で、手つかずの食品の4分の1は賞味期限がまだ過ぎていなかったということです。これら家庭で廃棄される未使用の食品は、全量が生ゴミとして処理され焼却処分されてしまいます。

日本は、食糧自給率がカロリーベースで39%と、世界の中でも最も低い国々に属するにもかかわらず、このように大量の「もったいない」食品を生みだしています。皆様のご家庭にも、忘れ去られ、そのうち賞味期限が切れ、捨てられてしまう「かわいそうな食品」があるかもしれません。それらを救出し、食べ物として大切に活かすのがフードドライブです。

フードドライブをする方法は？

フードドライブは、下記の要領で実施します。

- ①職場、町内会、地域、学校、あるいはイベントの機会を利用して、世話役の皆さんで話し合って、いつするか、どんな食品を集めるかを相談します。集める食品は、賞味期限まで1カ月位ある、常温で保管できて扱いやすい食品にします。賞味期限が過ぎていたり、開封後のもの、生もの、冷蔵、冷凍品はダメです。もし見つからなければ、お米カップ1杯でも参加できます。
- ②食品を持ち寄る日時と回収場所を決めたら、参加して下さる皆さんに、フードドライブの意義と目的、食品を集める日時、場所を、ポスターやチラシ等でしっかり伝えます。参加して下さる皆さんによく周知することが成功の鍵です。
- ③フードドライブ当日は、参加者が分かりやすい場所に、看板と一緒に回収箱を置きます。
- ④集まった食品は、連携するフードバンクに連絡をして、回収に来てもらいます。
- ⑤後日、フードバンクから回収量および集めた食品の届け先などの結果を報告します。

フードドライブの効果は？

フードドライブに参加した皆さんは、台所にどんな食品が忘れ去られているかを、調べるでしょう。どのご家庭にも、忘れ去られた「かわいそうな食品」が、きっといくつかあると思います。「なぜ、この食品を忘れていたのか？」を考えるでしょう。バーゲンでの衝動買い、まとめ買いしたけれど使い切れなかった、など、日頃の消費生活のあり様を見直すきっかけになります。皆さんがそれに気づけば、家庭からの食品ロスが減少し、日本の食糧自給率が少し改善するかもしれません。

そして、これら家庭では忘れられていた「かわいそうな食べ物」も、それらを必要とする人たちに届けられれば、「命を繋ぐ食べ物として、とても大切なもの」に変わります。フードドライブに参加することによって、「皆が暮らす地域を、互いに支え合いながら明るく住みよい町にするための、最初の一步を踏み出せた」ことを実感していただけるのではないのでしょうか？（浅葉）

「もったいない」を「ありがとう」に変えるチャンス

ご家庭に眠っている食品ありませんか？

フードドライブにご協力ください！

フードドライブとは
ご家庭で眠っている食品を持ち寄り、フードバンク関西を通じて、それを必要としている福祉団体、施設に寄付する活動のこと。

●食品の流れ

家庭 → フードドライブ → フードバンク関西 → 福祉団体・施設

日本では、家庭で廃棄される食べ物のうち、手つかずの生ゴミの22%も含まれています。しかもそのうちの4分の1は賞味期限が切れているのです。

ご寄付いただきたい食品

- ・お米（白米・玄米・アルファ米）
- ・パスタ、麺類などの乾燥品
- ・缶詰・レトルト食品・インスタント食品
- ・のり・お菓子のり・ふりかけ
- ・缶ミル・罐詰食品・お菓子
- ・調味料（醤油、食塩、味噌など）

ご注意ください！
以下の食品はお引き取りできません。
・賞味期限が切れている食品
・賞味期限が切れている食品
・賞味期限が1ヶ月を切っている食品
・開封されているもの
・生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜）
・アルコール（みりん、料理酒は除く）

フードドライブ実施日時
あしや市民活動フェスタ開催当日
7月25日（土）

回収場所
あしや市民活動センター・リードあしや

お問い合わせ・主催
認定NPO法人フードバンク関西
〒658-0051 岸和田市川内1-1-5
電話 0797-34-8330
メール foodbank05@yahoo.co.jp
ホームページ フードバンク関西で検索

フードドライブのためのチラシ

フードバンク活動の海外事情

当法人のスタッフ2人が海外のフードバンクの様子を見に行ってきました。1件は、「ロンドン チャリティショップ視察旅行」に同行し、地元のフードバンクを見学したこと、もう一件は、ハワイのストリートフェスティバルで目にしたフードバンク活動について報告します。

チャリティショップ視察旅行 in London

「子ども元気ネットワークひょうご」で協働するNPO法人FREE HELPのスタッフの「ロンドン チャリティショップ視察旅行」に同行させていただきました。チャリティショップとは、個人や企業から主に衣類の寄付を受け、それを売った収益で社会的活動を行うNPOなどをサポートするという事業形態です。ロンドンには、どの町の通りにも必ずといってよいほどチャリティショップがあり、店には自分たちが支援する活動が掲げられていて、カラフルで個性的なリーフレットが置かれていました。日用品まで揃う庶民的なところから、ドレスやブランド物もある、ブティックと変わらないお洒落なお店もありました。

家庭ごみの回収コンテナの横に設置されたチャリティショップのドネーションボックス（古着をいつでも寄付できます）



また、ロンドン郊外の閑静な Sutton 区に 2009 年に開設された Sutton Foodbank を訪問し、お話を伺ってきました。地区の 15 の教会で設立するコミュニティ・ワークの一環として開設され、教会や学校、スーパーマーケットを通じて集められた食品を 3 日分の緊急食糧パックとして、一時的に困窮に陥り食支援が必要になった個人・世帯に提供しています。食支援と同時に、その人の困窮の原因に対処するための機関の紹介や情報の提供などを行い、生活再建につなげています。フードバンクが核となり、地域全体で困窮する人たちをサポートする取り組みになっていました。この視察旅行で、チャリティが人々の生活の中に自然に組み込まれていることを肌で感じました。(中島)



ロンドンの街角にある
おしゃれなチャリティショップ

サットン・フードバンク



ハワイのフードバンク

5月の週末、ハワイ・ワイキキのリゾートホテルが立ち並び大通りは、歩行者天国となり、2ヶ所の特設ステージではライブ演奏されるハワイアンミュージックなどが鳴り響き、食べ物やアクセサリーなどの様々なブースの出店で夜遅くまでにぎわっていました。これは「ワイキキ・スパム・ジャム」というストリートフェスティバルで、フードバンク活動を支援するために毎年行われています。日本でもおなじみみのソーセージの中身を缶詰にした SPAM のゆるキャラが登場し、人気を集めていました。3万人の参加者が一個の SPAM の缶詰をフードバンクに寄付すると、何と3万個の缶詰が集まるという趣旨で行われており、お祭りの収益金の一部もフードバンクに寄付されているそうです。交通整理のお巡りさんも合間を見て SPAM を購入し、それをフードバンクのブースに届けていました。高級レストランにも「Donate Food Here」と書かれた箱が置いてあり、フードバン



大人気のスパムのゆるキャラ



ク活動が市民に定着していることを実感しました。ハワイは一見、永遠の楽園であり、日々の暮らしや悩みがないように見えますが、ハワイ・フードバンクは、年6千トン近くの食品を集め（日本のフードバンク全体のほぼ2倍の量に匹敵）、食料を必要とする子どもや高齢者を中心に、ハワイ州全住民の5分の1に相当する 287,000 人もの人々に、200 のメンバー組織を通じて集めた食料を無償配布しています。なお、集められる食品の3分の1は生鮮食品です。また、全体の8%の食品が地域のフードドライブで集められており、このお祭りの前後にも大規模なフードドライブが実施されていました。ハワイ・フードバンクは、食品の提供者とメンバー機関をつなぐ重要な役割を果たし、メンバー機関への金銭的支援や教育面でのサポートも行っているというハワイ州最大の非営利活動団体です。(井上)

ハワイ・フードバンクの寄付容器

《「働き盛り」のNPO ドラッカーに学ぶ「真の豊かさ」―》を読んで



フードバンク関西の正会員の島田恒さんが、『「働き盛り」のNPO ドラッカーに学ぶ「真の豊かさ」―』という題名の本を東洋経済新報社より出版されましたのでご紹介します。島田さんは、民間企業に勤務した後、NPO で活動し、大学で教鞭をとりながら NPO について研究をされており、当法人にもご助言くださっています。この本の中でドラッカーの学説とこれまでのご自身の NPO での経験や研究成果を集大成しておられます。ドラッカーは、産業社会は社会として成立し、企業は人を幸せにすることを提唱してきましたが、晩年には社会や人間を変えることが可能な NPO に深い関心を向けていきました。また、人々も、これまで仕事に没頭し、経済の進展こそが幸福につながると信じてきましたが、それを果たせず、真の豊かさとは何かを追及するようになり、NPO 活動に目を向けるようになってきました。本書では、NPO 活動に取り組む心構えを次のように指摘しています。①NPO の掲げているミッション（使命、目的、価値観）に共感できること。②人間関係の相性が合い、自分の居場所ができ、豊かな喜びがあること。③活動ペースを見極めること。無理をして参加せず、NPO 活動は楽しくなければ続かない。本書は NPO 活動へ入るための指針となるとお思いますので、ご一読をお勧めします。（井上）

今年も「第7回ラッフルキルト」を開催します 手芸品などの賞品を集めていますのでご協力ください

今年も「ラッフルキルト」を12月4日(金)に開催いたします。6年前、米国大阪総領事夫人の呼びかけにより、手作りキルト作品を特賞とするくじ付き寄付で当法人の運営費を支援する催しとしてスタートし、今回で7回目を迎えます。キルト作品をご提供くださるキルト作家の皆様をはじめ、ホテル、レストラン、食品などの企業の方々が、この催しにご協賛くださり、少しずつ規模を大きくしながら続いています。今や、「ラッフルキルト」はフードバンク活動をご支援くださる方々の楽しい交流の場となっています。今回も、「ラッフルキルト」の賞品となる品々を集めており、特に、手芸品など、この催しにふさわしい作品をお持ちの皆様からのご協賛を期待しております。作品のご寄贈をお考えいただける場合は、当法人にご一報ください。よろしくお願いいたします。



編集後記

もう一つ海外の話題で締めくくります。AFP 通信(6月9日)によると、フランス議会は5月、スーパーマーケットに対し、毎日ごみ箱に捨てられている大量の売れ残り食品の廃棄処分を禁止する法案を全会一致で可決しました。この法律によって、延べ床面積400平方メートルを超える店舗には、売れ残り食品の受け入れを行っている慈善団体との契約を2016年7月までに結ぶことが義務付けられました。なお、人の食用に適さなくなった食品については、家畜の餌や堆肥として転用しなければなりません。食品の廃棄が当たり前となっている現状を目の当たりにした若い地方議員(35)の行動によって法制化が導かれました。彼は、困窮とは呼べないがぎりぎりの生活を送っている多くの人が、羞恥心や資格に相当しないという理由から、フードバンクに行かないことを知ったことによって行動を起こしました。このような取り組みが全欧州に広がろうとしています。日本でも検討していただきたいものです。（井上）

余った食べ物を預かって、必要なところに届けます

特定非営利活動法人フードバンク関西

事務所 〒659-0051 芦屋市呉川町1-15 TEL/FAX 0797-34-8330

e-mail foodbank05@yahoo.co.jp URL <http://foodbankkansai.org/>

寄付のご送金方法 郵便振替口座 00940-4-221867 口座名義 特定非営利活動法人フードバンク関西



フードバンク関西の事業は「赤い羽根共同募金」の助成を受けて実施しています。